



ジ ュ ー ン ブ ラ イ ド  
その幸せに溢れる涙  
いついと  
待ちにし人に  
六月の花嫁  
薔薇の花に香りがただよい  
光る瞳に  
ひとすじのあと  
それから  
あなたによりそ  
六月の花嫁  
维尔を脱ぎすてた  
なんとなく梅雨に濡れて  
そして移り變るか  
ちりばめた霞草の  
影にかくれた  
六月の花嫁  
(四郎)

豊かな語彙(い)をも  
つていて、自分の考えて  
いることや感じているこ  
とを正確に、かつ美しく  
相手に伝達できるかでき  
ないかは、その人の人生  
の質を決定すると言つて  
もよいと思います。  
いわゆる井戸端会議式  
の雑談ができる人はま  
ずいません。

六月の花嫁  
はじらいの笑は

(四郎)

六月の花嫁

